

<介護の現場で働くスタッフの本音がわかる！>

～第5回「介護の日（11月11日）」アンケート調査結果～ 約7割（71.0%）が、たん吸引研修の受講に意欲的！！

福祉の人材サービスおよび育成を行う株式会社ニッソーネット（本社：大阪市北区、代表取締役社長：山下吾一）は、11月11日「介護の日」(*)を記念したアンケートを当社に登録している介護現場で働く介護派遣スタッフを対象に実施いたしました。（回収数：186名）

アンケート調査からは、介護をする側の“生の声”が伝わる結果となりました。

■ アンケート結果のポイント

- ① 「介護の日」の認知度が、3年連続で低下！
- ② 介護資格の制度変更は、「多少知っている」が6割超（63.9%）！
- ③ 約7割（71.0%）が、たん吸引研修の受講に意欲的！！
- ④ 介護現場では、半数以上（52.1%）がスタッフ（人材）不足を感じている！
- ⑤ 民主党政権の3年間、介護分野は「あまり変化なし」が4割超（43.5%）・・・

■ アンケート概要

【1】 アンケート実施の目的

- ・「介護の日」について問うことで、認知度を確認するとともに、スタッフに対しても記念日の存在を伝える。
- ・アンケート結果をニュースリリースとして発信し、介護の仕事に従事するスタッフの生の声を広く知らせる。

【2】 調査期間と方法

[実施期間] 2012年10月15日～10月31日

[調査方法] インターネット・モバイル回答方式

【3】 調査対象

[対象者] 当社登録の介護派遣スタッフ

[回収数] 186名

【4】 質問内容

- Q1. 介護の日を知っていましたか？
- Q2. 介護の資格制度が変わること（ヘルパーや介護職員基礎研修等の廃止）は知っていますか？
- Q3. たん吸引研修を受けてみたいと思いますか？

※たん吸引研修（喀痰[かくたん]吸引等研修）とは、介護職員などが、一定の条件の下でたん吸引等の実施が可能となったことを受けて、平成24年度から始まった研修です。

- Q4. 現在の介護現場に不足していると思うものは？
- Q5. 民主党政権の3年間で、介護分野に変化がありましたか？

※「介護の日」とは？

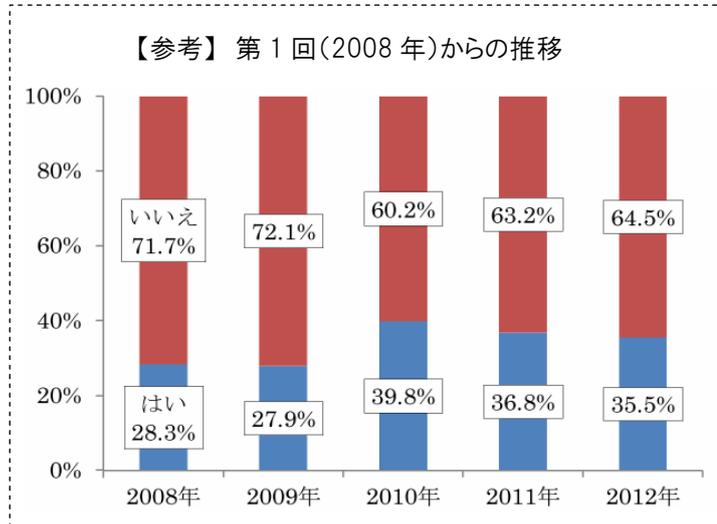
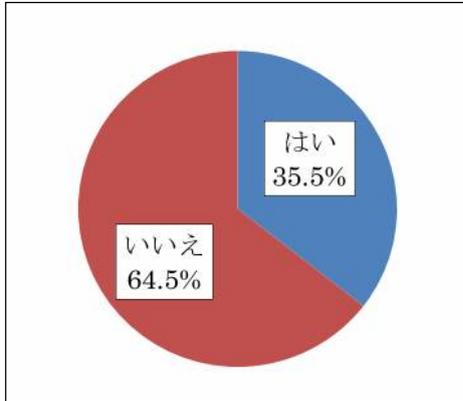
2008年7月、厚生労働省により、「介護について理解と認識を深め、介護従事者・介護サービス利用者および介護家族を支援するとともに、利用者・家族・介護従事者・それらを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進する観点から、高齢者や障害者等に対する介護に関し、国民への啓発を重点的に実施するための日」として、11月11日が「介護の日」と決められました。（厚生労働省 HP より）

■ アンケート集計結果（詳細）

Q1. 「介護の日」を知っていましたか？

⇒「介護の日」の認知度が、3年連続で低下！

今年で5年目を迎える「介護の日」ですが、認知度は2010年の39.8%をピークに、2011年は36.8%、2012年は35.5%と年々下がっていることが分かりました。厚生労働省により制定された「介護の日」当日は、全国各地で介護関連のイベントやセミナーが実施されていますが、まだまだ浸透していないことがうかがえます。

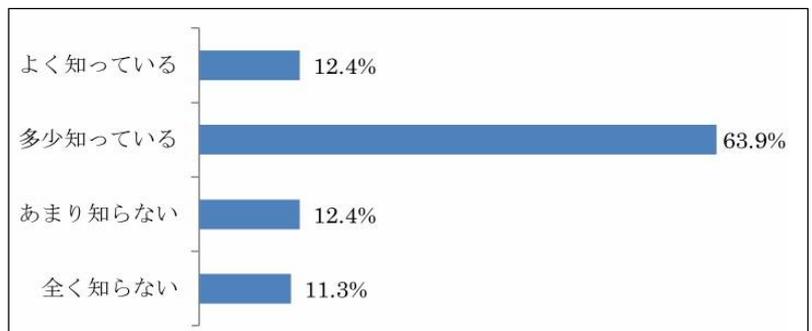


Q2. 介護の資格制度が変わること(ヘルパーや介護職員基礎研修等の廃止)は知っていますか？

⇒介護資格の制度変更は、「多少知っている」が6割超(63.9%)!

現在の介護現場では、「ホームヘルパー」、「介護職員基礎研修」、「介護福祉士」の3資格が混在しています。今後は、複雑な介護人材のキャリアパスをわかりやすくするため、介護分野における唯一の国家資格である「介護福祉士」を目指す形で、資格取得ルートが一本化されることとなります。

資格制度の変更について「多少知っている」と答えた方は63.9%となり、認識はしているが詳細は知らないという方が多くいることが分かりました。

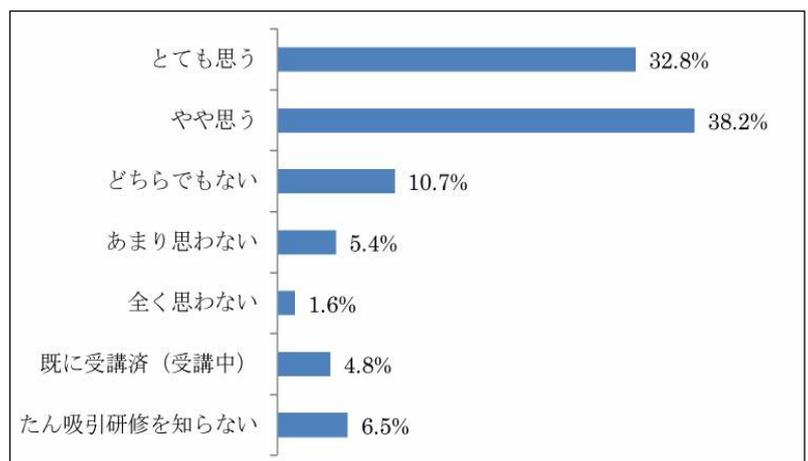


Q3. たん吸引研修を受けてみたいと思いますか？

⇒約7割(71.0%)が、たん吸引研修の受講に意欲的！

これまで、たん吸引や経管栄養の実施は原則として、医師や看護師以外ではできませんでしたが、法改正により、2012年4月以降、一定の研修を受けた介護職員等でもできるようになりました。

しかし、実際は、たん吸引等の研修を実施しているところが少なく、研修の需要に供給が追いついていない状況です。ニッソーネットが運営する『福祉の教室 ほっと倶楽部』でも、埼玉県からの受託研修を実施し、定員80名のところに400名の応募がありました。

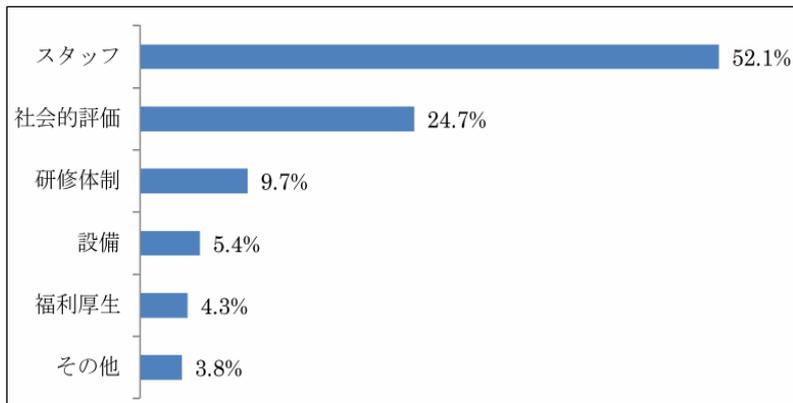


Q4. 現在の介護現場に不足していると思うものは？

⇒半数以上（52.1%）がスタッフ(人材)不足を感じている！

介護労働安定センターの「2011 年度介護労働実態調査」によると、昨年の介護職員の離職率は 16.1%という結果になりました。これは 2004 年の調査開始以来、最低の数字を記録し、数字上では“介護職員の離職率”が改善傾向にあることを示しています。

しかし、実際の介護現場では、半数以上（52.1%）が「スタッフ(人材)不足」を感じているようです。また、第 2 位に「社会的評価が低い」と感じている方が 2 割超（24.7%）いることが分かりました。

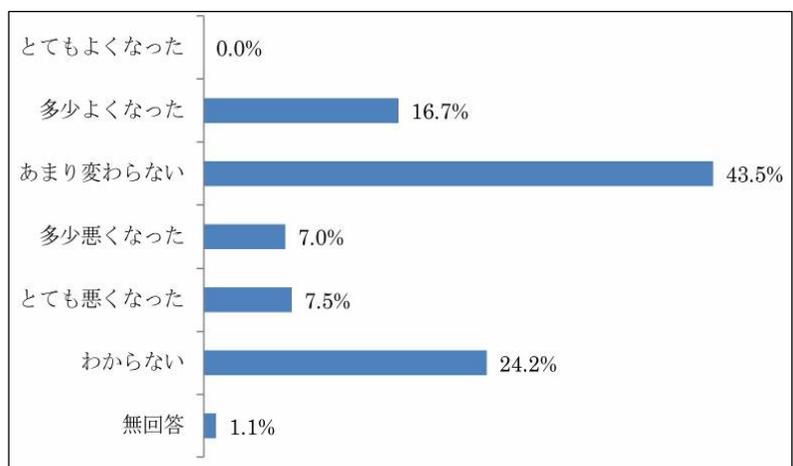


Q5. 民主党政権の 3 年間で、介護分野に変化がありましたか？

⇒政権交代後も、介護分野は「あまり変わらない」が 4 割超（43.5%）・・・

政権が民主党に交代した 3 年間、介護分野の深刻な問題に対し、政府は様々な施策を打ってきましたが、介護の現場で働くスタッフからは、「あまり変わらない」という回答が 4 割超（43.5%）もいたことが分かりました。

急速な高齢化に伴い、2025 年には現在の 2 倍もの介護人材が必要とも言われています。将来の人材創出が重要課題ともなっているため、一刻も早く、介護現場の改善策が望まれます。



【会社概要】

質の高い介護士、看護師、保育士を「人材派遣」「人材紹介」「紹介予定派遣」という形で、高齢者福祉施設、病院、保育所へ提供。また介護資格講座や、介護・保育セミナーを行う「福祉の教室 ほっと倶楽部」も運営しています。

※『福祉の教室 ほっと倶楽部』について



『福祉の教室 ほっと倶楽部』では、大阪・兵庫・東京・神奈川・埼玉エリアにてホームヘルパー 2 級講座やセミナーなどを多数開講し、介護・福祉の人材育成に取り組んでいます。また、各自治体からの職業訓練の受託も積極的に行っています。今後は、現場で役立つスキルアップセミナーや就業支援セミナーなど、“現場ですぐに役立つ”、“就業支援”をキーワードに、保育の教育・研修メニューも順次追加してまいります。

[社名] 株式会社ニッソーネット [代表者] 代表取締役社長 山下 吾一 [URL] <http://www.nissonet.co.jp/company/>

[設立] 1999 年 9 月 [資本金] 1,000 万円 [売上高] 24 億(2012 年 3 月期)

[従業員数] 95 名(2012 年 10 月現在) [事業内容] 人材サービス事業、教育・研修事業、施設運営事業

[本社所在地] 大阪市北区芝田 1-4-14 芝田町ビル 2F TEL:06-6375-2111(代) FAX:06-6375-1717

[支社] 南大阪支社、神戸支社、東京支社、横浜支社、さいたま支社

<本件に関するお問合せ>

- ・株式会社ニッソーネット 広報担当 星田 TEL:0120-518-739 Email:hoshida@nissonet.co.jp
- ・(PR 会社)株式会社アネティ 真壁 TEL:03-5475-3488 Email:makabe@anety.biz